

インストール・バージョンアップ

EX-TREND武蔵 シリーズ

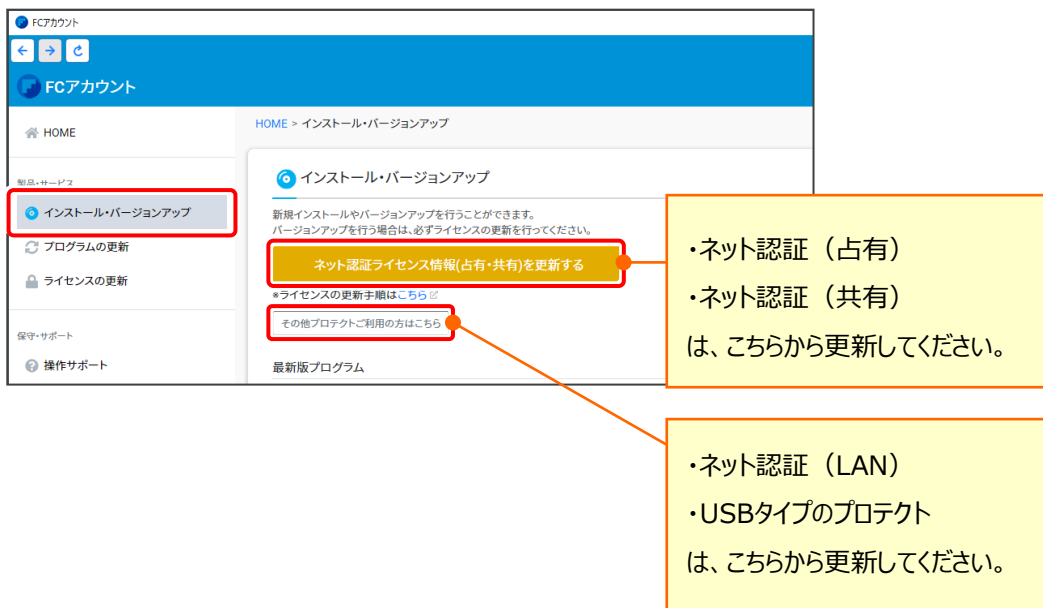
FCアカウントの「インストール・バージョンアップ」サービスを利用して、最新バージョンのプログラムにバージョンアップする手順を解説します。

1. ライセンスの更新は、お済みですか？

バージョンアップしたプログラムを使用するには、ライセンスの更新が必要です。

「インストール・バージョンアップ」の画面にある「ネット認証ライセンス情報（占有・共有）を更新する」をクリックして、ライセンスを更新してください。

「ネット認証（LAN）」または「USBプロテクト」をご利用の場合は、「その他プロテクトご利用の方はこちら」をクリックして、ライセンスを更新してください。



・ネット認証（占有）
・ネット認証（共有）
は、こちらから更新してください。

・ネット認証（LAN）
・USBタイプのプロテクト
は、こちらから更新してください。

2. プログラムをダウンロードしてインストールします

プログラムをダウンロードしてインストールする方法には、次の2種類があります。

お客様のご利用環境に適したインストール方法を選択して、インストールしてください。

▼ インターネットから直接インストール【推奨】

EX-TREND武蔵がインストールされているコンピューターで、更新されたプログラムをダウンロードして直接インストールします。
インストール開始までの時間が少なく、簡単な操作でバージョンアップする事ができます。

▼ 全体ファイルを保存してインストール

インストールに必要なファイルを全てダウンロードして保存した後、保存したファイルを実行して、プログラムをバージョンアップします。

また保存したファイルをDVDやUSBメモリなどにコピーして、複数のコンピューターへのインストールに使用することができます。

バージョンアップの手順については、次ページからをご覧ください。

※動作環境については、巻末（8ページ）をご覧ください。

その他のツール類についても、必要に応じてダウンロードしてご利用ください。

▼ 各種ツール [積算連携ツール、テンプレートなど] (※1)

▼ TREND-ONE⇒建設CADコンバーター (※1)

(※1) ダウンロードしたファイルにある " FCSet-up.exe " を実行して、インストールしてください。

1

インターネットから直接インストール

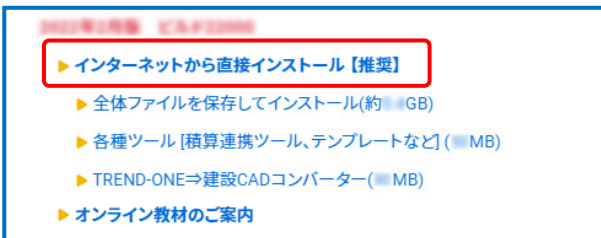
EX-TREND武蔵シリーズのプログラムを、「インターネットから直接インストール」でインストールします。

※ 「全体ファイルを保存してインストール」でインストールしたい場合は、6ページの「補足1：全体ファイルを保存してインストールについて」の手順を参照してください。

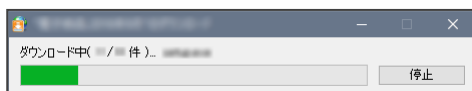
1. 「インストール・バージョンアップ」のページにあるEX-TREND武蔵シリーズの「インストール」ボタンをクリックします。



メニューが表示されますので、「インターネットから直接インストール【推奨】」をクリックします。

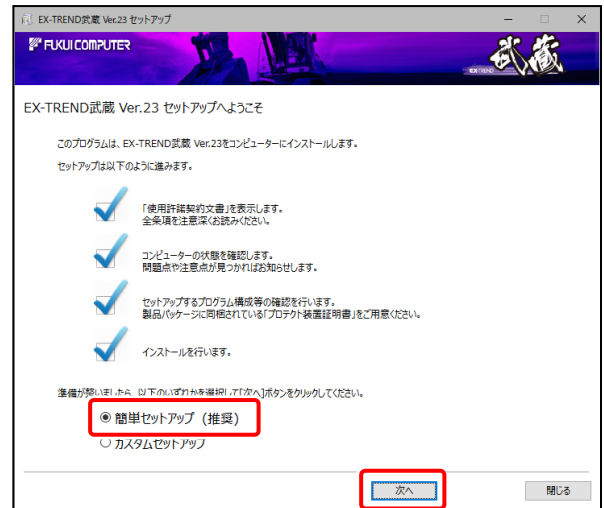


2. ダウンロードが開始されます。

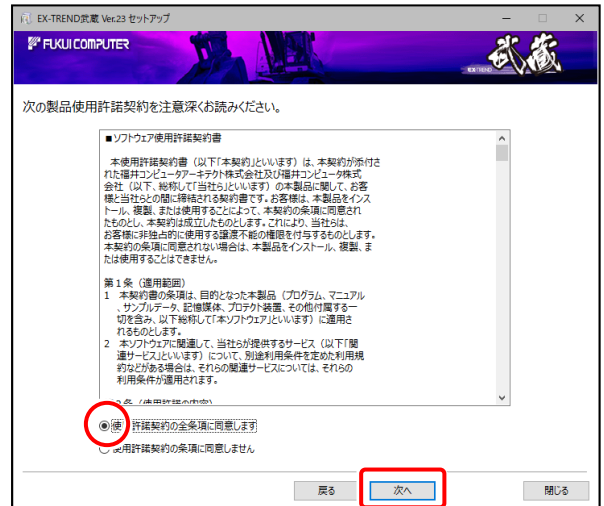


3. ダウンロードが完了すると、セットアップ画面が表示されます。

「簡単セットアップ（推奨）」を選択します。

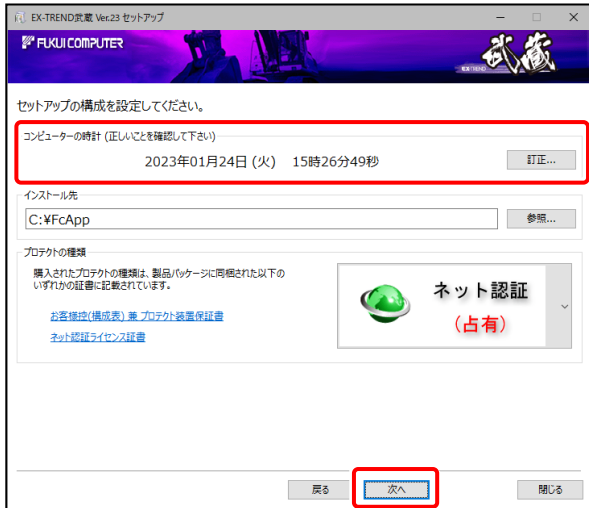


「使用許諾契約の全条項に同意します」を選択します。

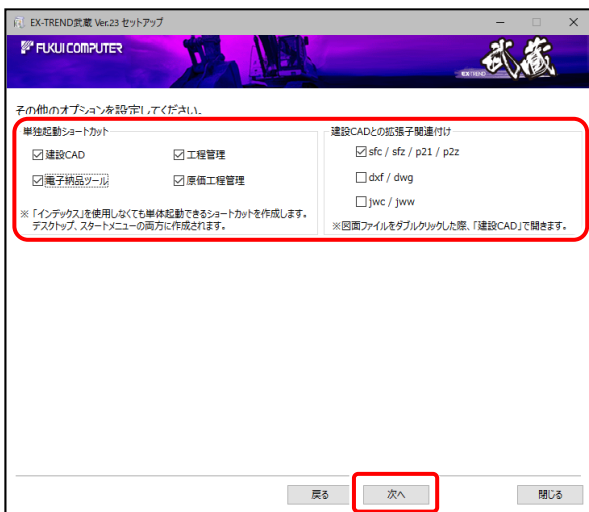


(次ページへ続く)

コンピューターの時計を確認します。
日時がずれていると、ライセンスの認証が正常に行えません。右側のボタンをクリックして、正しい日時を設定してください。



その他のオプションを設定し、[次へ] を押します。



- ※ 単独起動ショートカットを作成すると、「インデックス」プログラムを使用しなくてもプログラムを起動することができます。
 - ※ 「建設CADとの拡張子関連付け」を「オン」にした図面ファイルは、ダブルクリックすると「建設CAD」で開くようになります。
 - 単独起動ショートカット : すべてのチェックを「オン」
 - 建設CADとの拡張子関連付け : sfc/sfz/p21/p2z を「オン」
- でインストールすることをお勧めします。

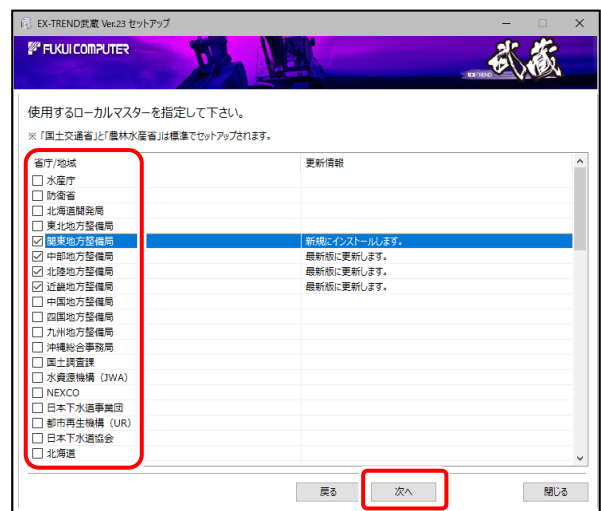
ローカルマスターとは、各省庁や都道府県別に対応した基準案・要領案などの設定ファイルです。

受注する可能性のある、省庁や地域のチェックボックスをオンにします。

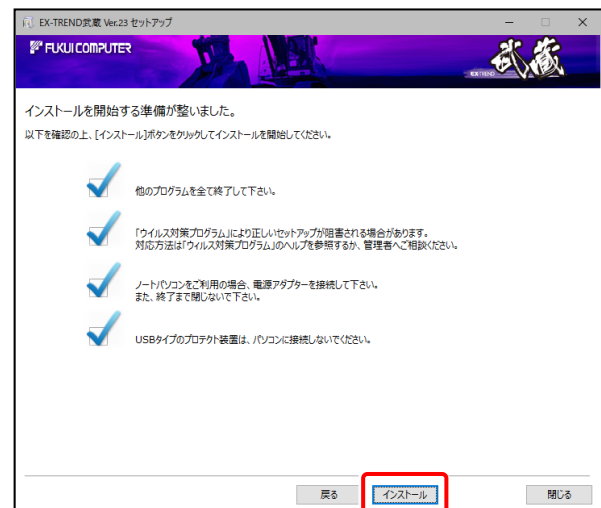
旧バージョンで使用していたローカルマスターのチェックボックスは、オンになっています。

追加や削除がある場合は、設定を変更してください。

(追加・更新するローカルマスターは「オン」、削除するローカルマスターは「オフ」にします。)

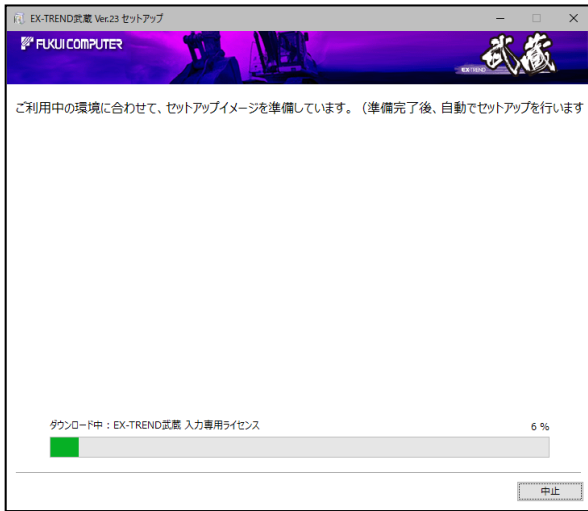


内容を確認して、[インストール] を押します。



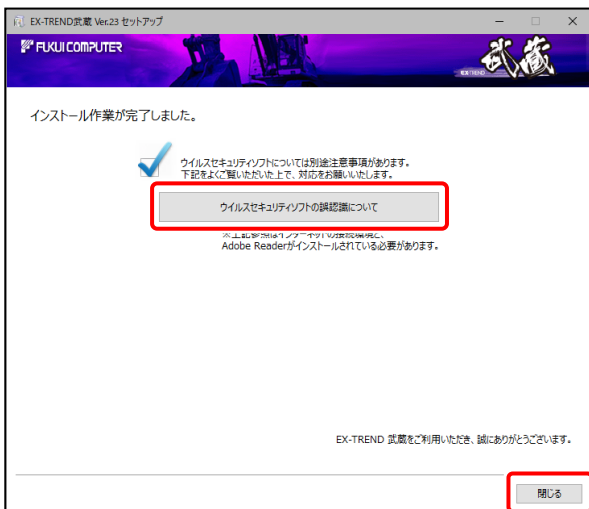
(次ページへ続く)

プログラムのダウンロードと、インストールが開始されます。



インストールを終えたら、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]を確認して、[閉じる]を押します。

再起動が必要な場合は、再起動します。



プログラムの一括インストールは完了です。

続いて次ページ「入力専用ライセンスの更新」に進みます。

「各種ツール」「TREND-ONE⇒建設CADコンバーター」などは、必要に応じてインストールしてください

- ▶ インターネットから直接インストール【推奨】
- ▶ 全体ファイルを保存してインストール(約 4GB)
- ▶ 各種ツール [積算連携ツール、テンプレートなど] (約 100MB)
- ▶ TREND-ONE⇒建設CADコンバーター (約 100MB)
- ▶ オンライン教材のご案内

※ 現在、「TREND-ONE⇒建設CADコンバーター」をお使いのお客様は、必ずダウンロードしてインストールしてください。

旧バージョンのコンバーターは、新バージョンのプログラムでは動作しません。

インストール方法

ダウンロードしたファイルにある "FCSet-up.exe" を実行してください。

ウイルスセキュリティソフトの誤認識について

ウイルスセキュリティソフトの誤認識により、EX-TREND 武蔵が正常に動作しない場合があります。

誤認識を防ぐためには、セキュリティソフト側で「検出の除外」を設定する必要がある場合があります。

「検出の除外」の設定手順については、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]ボタンから表示される資料を参考にしてください。

2 入力専用ライセンスの更新

バージョンアップ時には、入力専用ライセンスのライセンス情報を更新する必要があります。

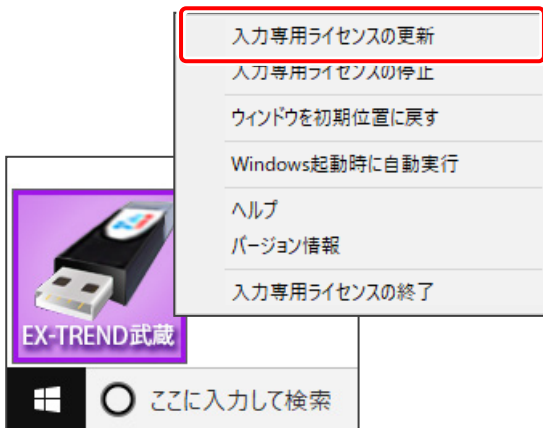
ライセンス情報を更新しないと、バージョンアップしたプログラムを入力専用ライセンスで使用することはできません。

ネット認証ライセンスの場合は「認証済みの状態」、USBプロテクトの場合は「プロテクトを装着した状態」で、入力専用ライセンスの更新を実行して下さい。

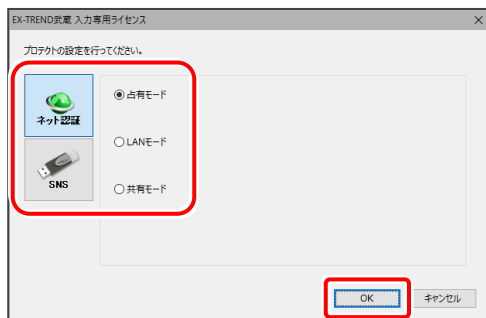
1. デスクトップの【入力専用ライセンス】をダブルクリックして起動します。



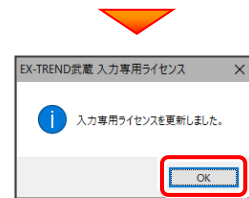
2. デスクトップ左下の【入力専用ライセンス】でマウスの右ボタンをクリックし、表示されるポップアップメニューから、【入力専用ライセンスの更新】コマンドを実行します。



3. 【ターゲット】で、使用しているプロテクト装置を選択して、【OK】を押します。



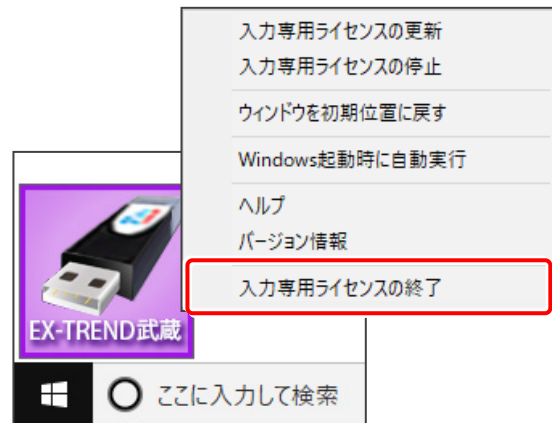
【LANモード】（LAN）を選択した場合は、LANプロテクトを装着しているサーバー名を入力してください。



4. ライセンス情報の更新を終えたら、入力専用ライセンスを終了します。

起動させたままだと、プロテクトが装着されていても入力専用で動作してしまいます。

【入力専用ライセンス】でマウスの右ボタンをクリックし、表示されるポップアップメニューから、【入力専用ライセンスの終了】コマンドを実行します。



入力専用ライセンスの更新は完了です。

以上でバージョンアップは完了です

補足1 全体ファイルを保存してインストールについて

複数のコンピューターでEX-TREND武蔵シリーズをお使いの場合は、全体ファイルを保存し、DVDやUSBメモリにコピーしてインストールに利用した方がダウンロード時間を短縮できます。

またインターネットに接続していないコンピューターがある、接続回線が遅いなどの場合にも、ご利用ください。

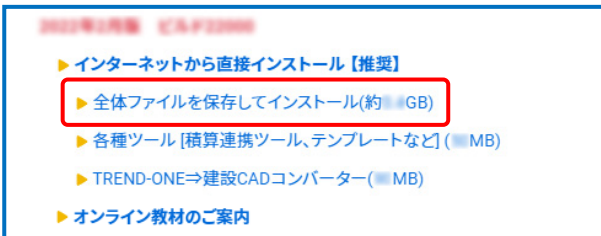
※ 通信環境、時間帯によっては、ダウンロードに時間がかかる場合があります。

そのようなときは、別の時間帯で再度お試しください。ダウンロードを中止しても、また続きから再開されます。

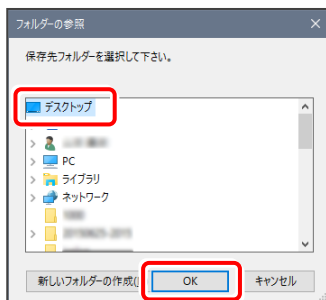
1. 「インストール・バージョンアップ」のページにあるEX-TREND武蔵シリーズの「インストール」ボタンをクリックします。



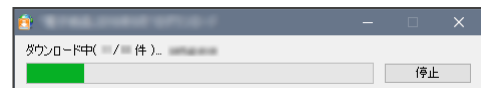
メニューが表示されますので、「全体ファイルを保存してインストール」をクリックします。



2. ダウンロードする全体ファイルの保存先（デスクトップなど）を指定して、[OK] をクリックします。

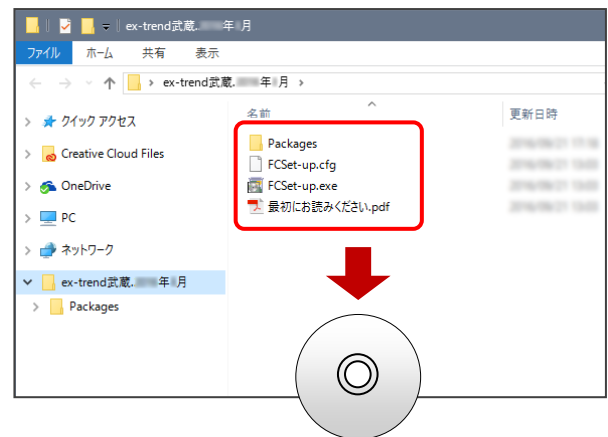


3. ダウンロードが開始されます。



※ ダウンロードを中止するには、上記画面で [停止] をクリックしてダウンロードを一時停止してから、[×] ボタンでダウンロードをキャンセルしてください。

4. ダウンロードが完了すると、エクスプローラーが開かれます。複数のコンピューターのインストールに使用する場合は、保存した全体ファイルをDVDやUSBメモリにコピーしてご利用ください。



以上で、全体ファイルの保存は完了です。

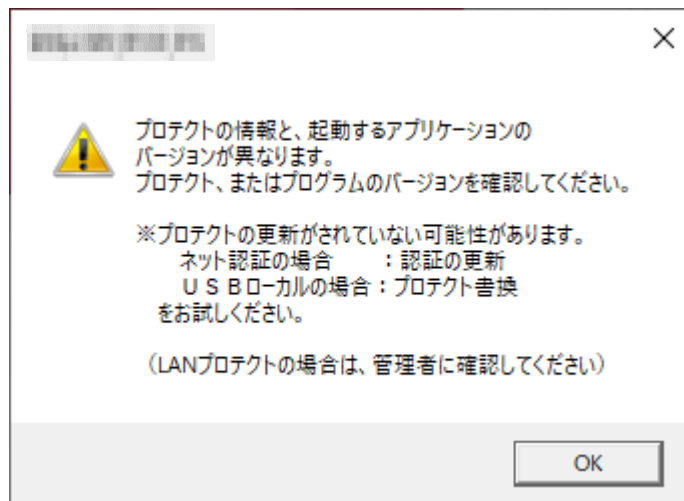
全体ファイルにある" FCSet-up.exe "を実行することで、お使いのEX-TREND武蔵シリーズを最新バージョンに更新することができます。

(以降の手順については、2ページから参照)

補足2 バージョンアップ後にプログラムを起動できない場合

プログラムのバージョンアップが完了後に、EX-TREND武蔵や建設CADを起動できない場合の対処方法を説明します。

プログラムのバージョンアップが完了後に、EX-TREND武蔵を起動しようとすると、以下のメッセージが表示されることがあります。



このメッセージは、プロテクトの書き換え・ライセンス認証の更新を行っていない場合、もしくは、バージョンアップ前に2つの異なるプログラムをネット認証ライセンスの「占有モード2」「占有モード3」の設定を利用して同時に認証していた場合などに表示されることがあります。

※「占有モード2」「占有モード3」の設定については、弊社WEBサイト「お客様サポート」の「別IDの製品を同時起動するには？（ネット認証占有モード2、3の認証）」（https://www.fukuicompu.co.jp/mnl/cs/possess/possess_mn.html）を参照してください。

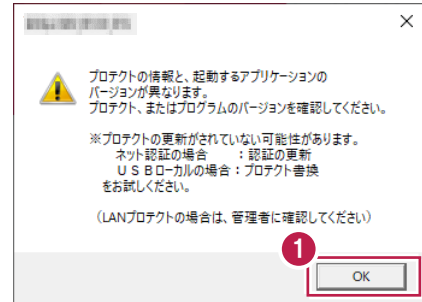
プロテクトの書き換え・ライセンス認証の更新を行っていない場合は、弊社WEBサイト「お客様サポート」の「各ライセンス更新・プロテクトの書き換え方法」（<https://const.fukuicompu.co.jp/user/products/extrendmusashi/setup.html>）を参照してプロテクトの書き換え・ライセンス認証の更新をしてください。

プロテクトの書き換え・ライセンス認証の更新を行なったにもかかわらず表示される場合は、「占有モード1」でバージョンアップしたプログラム以外のライセンスを認証している可能性があります。

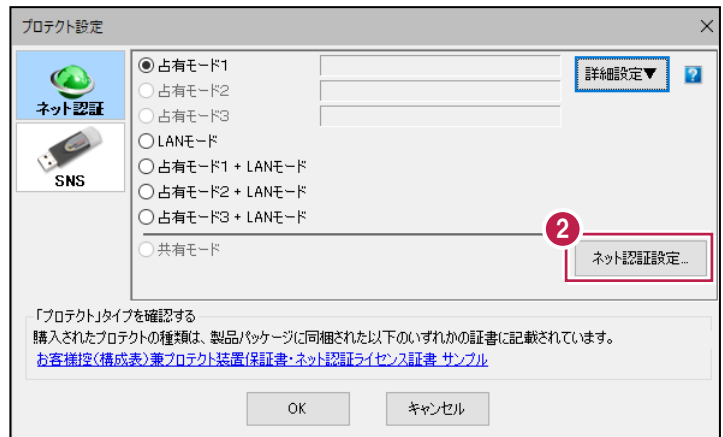
次ページの手順で対処してください。

【対処方法】

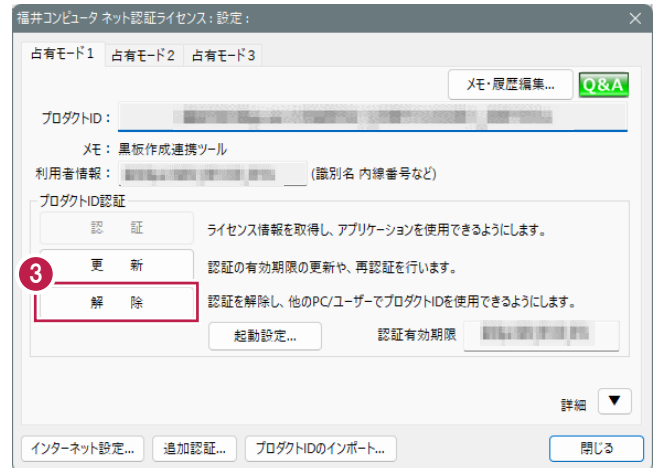
- ① 「プロテクトの情報と、起動するアプリケーションの～」のメッセージを [OK] します。



- ② 「プロテクト設定」が表示されます。 「ネット認証設定」をクリックします。



- ③ 認証中の別プログラムのライセンスを解除するため、
「解除」をクリックします。



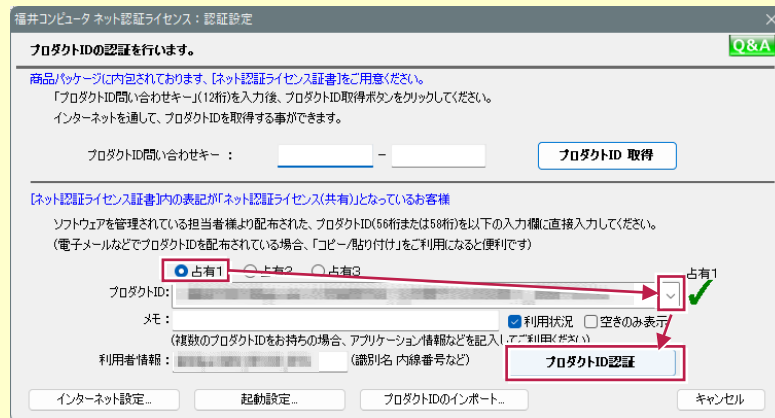
※ ライセンスを認証していない場合は、以下の画面が表示されます。

この場合は、リストからEX-TREND武蔵のプロダクトIDを選択し「プロダクトID認証」をクリックしてください。

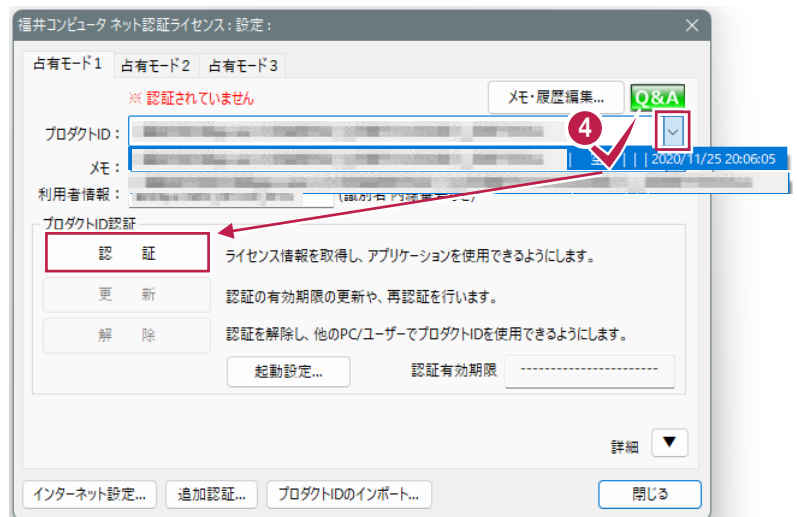
詳細な手順は「別IDの製品を同時起動するには？（ネット認証占有モード2、3の認証）」

(https://www.fukuicompu.co.jp/mnl/cs/possess/possess_mn.html)」の「②プロダクトIDを追加認証する」

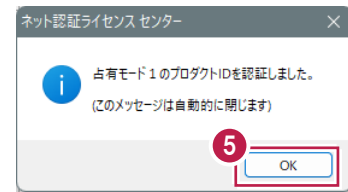
を参照してください。



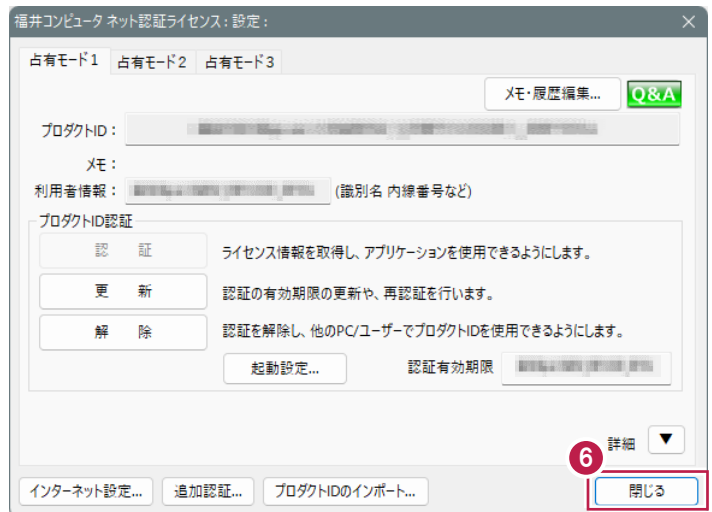
- ④ リストからEX-TREND武蔵のプロダクトIDを
選択し、「認証」をクリックします。



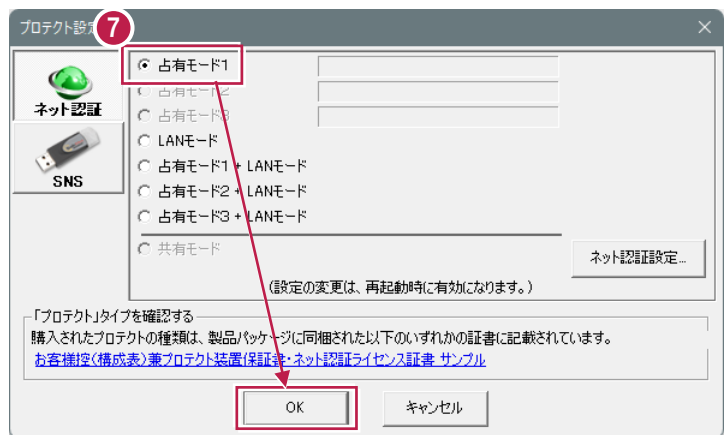
5 [OK] をクリックします。



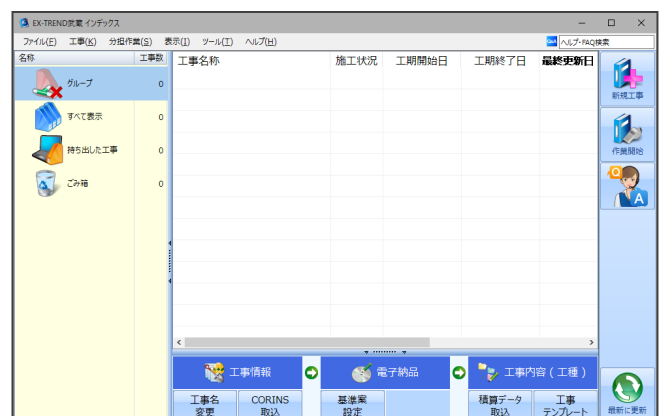
6 [閉じる] をクリックします。



7 [ネット認証設定] で認証した占有モードを選択します。
ここでは [占有モード1] をクリックし [OK] をクリックします。



8 プログラムが起動します。



EX-TREND武蔵 動作環境

OS (※1)	Windows 11 バージョン22H2 Windows 10 バージョン22H2 (2022 Update) (32/64bit)												
CPU	Core i5以上												
必要メモリ	32bitOS: 推奨 3.0GB (最低2.0GB 以上) 64bitOS: 推奨 4.0GB (最低2.0GB 以上)												
必要HDD容量	2.0GB 以上												
必要解像度	推奨 1600 x 1200 (最低1280 x 1024 以上)												
その他	<p>VIDEO : OpenGLをサポートするグラフィックボード(「建設CAD」の[3D]コマンド実行時) VIDEOメモリ : 64MB以上(推奨128MB以上、「建設CAD」の[3D]コマンド実行時) Google Earthデータを閲覧するにはGoogle Earth™を別途インストールする必要があります。</p> <p>●Microsoft Office (Excel) : 書類作成機能/CAD連携機能</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>バージョン</th> <th>サービスパック</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>365 (32/64bit)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2021 (32/64bit)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2019 (32/64bit)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2016 (32/64bit)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2013 (32/64bit)</td> <td>SP1 以降</td> </tr> </tbody> </table> <p>※「ストアアプリ版」のOfficeがインストールされている環境では、一部機能が正常に動作しません。「デスクトップアプリ版」のOfficeをご利用ください。 ※一部の機能を利用するためには Microsoft Edge WebView2 ランタイムが必要です。</p>	バージョン	サービスパック	365 (32/64bit)		2021 (32/64bit)		2019 (32/64bit)		2016 (32/64bit)		2013 (32/64bit)	SP1 以降
バージョン	サービスパック												
365 (32/64bit)													
2021 (32/64bit)													
2019 (32/64bit)													
2016 (32/64bit)													
2013 (32/64bit)	SP1 以降												

(※1)64bit版上で動作させる場合、64bitネイティブアプリケーションとしてではなく、32bitアプリケーションとして動作しますのでご注意ください (WOW64対応)。

- ※ 上記動作環境は2023年2月時点のものです。動作環境は予告なく変更する場合があります。
- ※ プログラムによっては動作環境が異なる場合があります。
- ※ Office製品は、Microsoft社製のものに限ります (Office互換製品は保証対象外)
- ※ Microsoft365 (旧Office365)は、「インストール版」のみ動作保証します。ブラウザで参照可能な「オンライン版」のMicrosoft365 (旧Office365)は動作保証外となります。
- ※ 動作確認テストは、動作環境で行っております。
- ※ Windows 11,10以外のアップグレードしたOSでの動作は保証外です。
- ※ 仮想マシン上での動作は保証外です。
- ※ 必要HDD容量は、データの大きさにより異なります。
- ※ CPUは、Intel社製 Coreに限りません。
- ※ プログラムのインストール時にDVD-ROMドライブまたはネットワーク環境などのDVD-ROMを認識できる環境が必要です。
- ※ 「施工計画書作成支援」および「インデックスの書類作成機能」はOffice2013、Office2016、Office2019、Office2021、Microsoft365 (旧Office365)のいずれかが別途インストールされている環境が必須です。(64bit版の場合、「施工計画書作成支援」では、一部動作に制限があります)
- ※ プログラムのインストール先としてNASのご利用はできません。またデータを直接NASに保存することは推奨できません。
- ※ データやLANプロテクト等のルーター越えでの運用はプログラム動作保証外です。
ルーター越えの運用とは、場所の離れた拠点 (例えば支店や営業所) から本社に設置しているサーバにあるデータやLANプロテクトのライセンスを取得するケースとなります。
- ※ ヘルプ機能を利用するためには Microsoft Edge WebView2 ランタイムが必要です。